

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0736
施設名	経堂保育園
施設所在地	東京都世田谷区経堂4-13-10
法人名	社会福祉法人 杉の子保育会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

テーマ「自然」

園庭とテラスの自然環境を繋ごう

<テーマの設定理由>

これまで、身近な戸外環境である園庭の改善プロジェクトに取り組み、草木が豊かに茂り、緩やかな高低差があり、新緑、開花、実の収穫、紅葉、落葉など、四季の移り変わりを豊かに味わえ、生き物が訪れる自然環境づくりに取り組んで来た。園庭で異年齢が関わる中、小さいクラスが草木、花、葉、虫たちに出あい楽しむ様子、2階の保育室に虫などを持っていきたがる姿に、「2階のテラスにも小さな園庭があるといいね」と、年長児がつぶやいたことをきっかけに、園全体のテーマとし、園庭の自然環境を探究しながら、2Fのテラス環境の改善、自然環境の園全体への循環に取り組むこととした。

2. 活動スケジュール

- ・5月：園庭環境への出あい直しと0・1・2歳児の興味把握
- ・6月：テーマ決め 計画
- ・7・8・9月：木漏れ日虫かごハウス（もりのおうち）づくり（植物の植え込み）
園庭とテラスの自然環境探求を通して、生き物、植物の命にふれる
- ・10・11月：テラスの自然環境探求 植物の採取など 園庭の自然環境とテラスの循環
- ・12月：自然環境との関わり・探究
- ・1・2月：自然環境との関わり・探究 生態系の探究
- 。3月：自然環境に関わり命の巡りを感じ、自分たちも自然の一部であることを感じる。
園の自然環境を、次年度へ循環する。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・もりのおうちづくり（木材） 相談：森と市庭さん
- ・植物の植え替え、植樹の相談（お花屋さん）
- ・園庭の植物を植え替える（プランター・土・肥料・水・ジョーロ・スコップ・ネット）
- ・収穫物の活用（栄養士に相談・調理体験）
- ・メダカの引っ越し（メダカの水甕・水・藻）
- ・活動記録に使用するカメラ、タブレット 保護者への活動共有

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・5・6月：園庭の環境への出あい直しと探究 テーマ決め
- ・7・8・9月：テラスの自然環境「森のおうち」設置
土入れ、生態系の変化考察と植物の植え替えはじまり
木・草などの引っ越し
虫の引っ越し ・ブルーベリー摘み
- ・10月：生態系の変化に気づく ・フウセンカズラの種採り
- ・12月：テラスの環境の変化を知る
- ・1、2月：自然環境の探究と気づき ・メダカの引っ越し
- ・3月…テラスで採取したフウセンカズラの種を園庭へ

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

別紙参照

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

園庭の自然環境を2階のテラスへ循環させていく取り組みを1年間かけて行い、0歳児クラスの子どもが花に関心を寄せ、身を寄せ、鼻を近づけ、匂いを確かめたり、話しかけたり、触れたり、自然物にじっくりと向き合い、深く探究する姿が見られた。興味を持った対象にしっかりと向き合える空間（ハイハイ等でも安全に移動できる環境、静かさ、適度な広さなど）、子どもたちの目線に合った環境、ゆったりと向き合える時間の保障などの大切さを感じた。1歳児クラスのダンゴムシの虫の探究は、2階のテラスにダンゴムシを連れていき、住みやすい環境にしていくことで更に深まった。また、テラスの自然環境が豊かになったことで、新たな虫との出あいと虫への興味が高まるきっかけになった。テラスの環境と小さいクラスの様子を気かけ、5歳児クラスが積極的にテラスへ出かけ、異年齢の関りがより豊かになったとともに、子どもたち自身が思考、工夫、提案を活発にし、自信をつけていく様子も印象的だった。

幼児クラスでは、あらためて、植物、生き物が生きる環境に丁寧に向き合うことで、自然の命という視点で深く考察する機会となり、植物や生き物との関わり方に変化が見られ始めている。